

Wikiprint Book

Title: Trac インストールガイド 0.11

Subject: SilverFrost - TracInstall

Version: 3

Date: 06/04/26 06:08:17

## SilverFrost 目次

Trac インストールガイド 0.11	3
簡単な方法 - リリースバージョン向け	3
インストール条件 - 古いバージョンである可能性があります	3
SQLiteの場合	3
PostgreSQLの場合	3
MySQLの場合	3
任意の条件	4
バージョン管理システム	4
Web サーバ	4
その他の Python ユーティリティ	4
Tracのインストール	4
高度なオプション	5
プロジェクト Environment の作成	5
スタンドアロンサーバの起動	5
Web サーバ上での Trac の起動	6
認証の構成	6
Trac 0.11 と SVN を Mac OS X Leopard (10.5) で使用する	6
Tracを使用する	6

## Trac インストールガイド 0.11

Trac は Python で書かれており、データベースとして [SQLite](#)、[PostgreSQL](#)、[MySQL](#) のどれかが必要です。Trac は HTML レンダリングのために [Genshi](#) テンプレートシステムを使用します。

Trac のインストールとセットアップに対する一般的な手順を以下に示します。Trac を特定のシステムにインストールする手順は Trac Project サイトの [TracInstallPlatforms](#) にありますが、まず最初に以下の一般的な手順を読み通してタスクの関係を確実に理解してください。

### 簡単な方法 - リリースバージョン向け

クイックインストールをするためには [Python-2.5](#)、[easy\\_install](#)、SQLite-3.3.4 がすでにインストールされていなければなりません (各バージョンは、より新しいものでも可)。

```
sudo easy_install Trac==0.11
```

### インストール条件 - 古いバージョンである可能性があります

Trac をインストールするためには以下のソフトウェアパッケージがインストールされていなければなりません:

#### [Python](#) 2.3 以上

- XML 関連が組み込まれた `mod_python` を使用する場合、`python-2.5` を使用してください。 `expat` モジュールがネームスペース化されているので、`apache` のクラッシュが引き起こされることがなくなります。(詳細は [ここ](#) を参照してください)。
- RPM ベースのシステムでは、`python-devel` と `python-xml` パッケージが必要になるかもしれません。
- 注意事項を参照してください。 [TracOnWindows/Python2.5](#)
- [setuptools](#) 0.6 以上
- [Genshi](#) 0.4.1 以上
- データベースシステムと対応する Python ドライバが必要です。データベースは SQLite, PostgreSQL, MySQL (実験的) のどれかが使えます。
- プラグインが必要とする場合は [ClearSilver](#) が必要です。

#### SQLiteの場合

- [SQLite](#) 3.3.4 以上を推奨します。
- Python-2.5 を使用しないなら [PySQLite](#) が必要です (2.3.2 を推奨します)。SQLite 2.x を使用する場合 PySQLite version 1.x、SQLite 3.x を使用する場合 PySQLite version 2.x がそれぞれ必要です。詳細は [PySQLite](#) を参照してください。(訳注: Python-2.5 には PySQLite2 (つまり SQLite3 向け) のライブラリが同梱されています)

Note: 'contrib/trac-post-commit-hook' を使用する場合、Trac は 0.9 以降、PySQLite は 2.x が必要です。

Note: Mac OS X のユーザは注意してください; Apple が提供している SQLite は AFP や SMB のようなネットワークファイルシステムでのがいるロックを行うための追加コードが含まれています。このコードは現在のメインラインのソース (3.3.6) では存在しませんので、ソースから SQLite をビルドした場合にこのようなファイルシステムでは正しく機能しないでしょう - 通常は "database is locked" というエラーが発生します。Apple のコードをベースにした 3.3.6 向けの [パッチ](#) があります。また、Apple から提供されている別のバージョン (今のところ 3.1.3) を使用するのがおそらく最も良いでしょう。

#### PostgreSQLの場合

- [PostgreSQL](#)
- [psycopg2](#) または [pyPgSQL](#)

Warning: PostgreSQL 8.3 は厳密な型チェックメカニズムを採用しています。Trac で PostgreSQL のバージョン 8.3 を使用するには、[trac-0.11](#) 以降でなければなりません。

#### MySQLの場合

Warning: MySQL のサポートは今のところ まだ 実験段階です。環境によっては動作しますが、特に unicode の使用と、リボジトリキャッシュのキー長に関して、いくつかの問題が残っています。より詳細な情報は [MySQLdb](#) を参照してください。

- [MySQL](#) 4.1 以上
- [MySQLdb](#) 1.2.1 以上

## 任意の条件

### バージョン管理システム

Please note: Subversion を使用するなら Trac を同じマシンにインストールする必要があります。リモートリポジトリは現在サポートされていません。

[Subversion](#) 1.0 以上 (1.2.4, 1.3.2, 1.4.2 のいずれかが推奨されます) と 対応する Python バインディングに対応しています。トラブルシューティングには [TracSubversion](#) を参照してください。

- Trac は Subversion のディストリビューションに含まれる [SWIG](#) バインディングを使用します。 [PySVN](#) では ありません (PySVN は時々、標準の SWIG バインディングと混同されることがあります)。
- SWIG バインディングを含まない Subversion が既にインストールされている場合、Unix であれば `make swig-py` と `make install-swig-py` による Subversion の再構成が必要です。
- Win32 の場合、 [pre-compiled bindings](#) から取得してください。
- サードパーティから他のバージョン管理システムのサポートが提供されています。 [PluginList](#) と [VersioningSystemBackend](#) を参照してください。

### Web サーバ

- CGI が利用可能なウェブサーバ ([TracCgi](#) を参照してください) または
- [FastCGI](#) が利用可能なウェブサーバ ([TracFastCgi](#) を参照してください) または [Apache](#) と `mod_wsgi` ([TracModWSGI](#) を参照してください)
  - `mod_wsgi` は非常に新しく、いくらか実験的ですが、これは Apache 1.3, 2.0 または 2.2 で動作するはずで、 `mod_python` を使用するよりも良いパフォーマンスが出るはずです。
- [Apache](#) と `mod_python 3.1.3` 以降 ([TracModPython](#) を参照してください)
  - `mod_python` をインストールするときは、開発向けの Python と Apache が必須になります (実際にはライブラリとヘッダファイル)。

Trac を Apache と [mod\\_python 2.7](#) で動かすことも可能です。( [TracModPython2.7](#) を参照してください)。このガイドは 0.8.4 以降更新されていないので動作が異なるかもしれません。

### その他の Python ユーティリティ

- [WikiRestructuredText](#) は [docutils](#) 0.3.9 以降が必要です。[シンタックスハイライト](#) は [Pygments](#) が必要です。また [SilverCity](#), [Enscript](#) も、まだ使用できます。
- !SilverCity0.9.6 には Trac の Python 向けシンタックスハイライトを壊す [バグ](#) があるのに注意してください。更新プログラムが利用可能になるまで 0.9.5 を使用することを推奨します。
- [pytz](#) からタイムゾーンの完全なリストを取得します。 `pytz` を使用しなければ Trac は内部実装された短いリストを使用します。

Attention: これらの依存関係は様々なバージョンで必ずしも置き換えできるとは限らないので、上記のバージョン番号に注意してください。 Trac を動かす上で問題が発生した場合は [メーリングリスト](#) や [IRC チャンネル](#) で質問をする前にすべての依存関係を再度確認してください。

これらのパッケージのドキュメンテーションを参照して、それらが最も上手にインストールできる方法を探してください。また [プラットフォーム特有の説明](#) の多くに、これらの依存関係のインストール方法が記述されています。しかしながら [プラットフォーム特有の説明](#) の情報はあなたがインストールしている Trac より古いバージョンについての説明があることを覚えておいてください (なんと Trac-0.8 に関する説明をしているページもあります)。

## Tracのインストール

Trac をインストールする 1 つの方法は `setuptools` を使用することです。 `setuptools` は `subversion` のリポジトリから Trac をインストールすることができます; 0.11b2 のリリースバージョンをインストールするための例を以下に示します:

```
easy_install http://svn.edgewall.org/repos/trac/tags/trac-0.11b2
```

もちろん、ソースディレクトリのトップでの典型的な python セットアップもできます:

```
$ python ./setup.py install
```

Note: このステップを実行するためには root 権限 (または root 権限と同等の権限) が必要です。

この操作で Python のソースコードがバイトコンパイルされ、.egg ファイルかディレクトリが Python インストールの site-packages ディレクトリにインストールされます。.egg には htdocs や templates のような、ソースファイル以外に標準インストールの Trac が必要とするすべてのリソースが含まれています。

このスクリプトは [tracd](#) スタンドアロンサーバと一緒に、[プロジェクト Environment](#) を作成し維持するための [trac-admin](#) コマンドラインツールをインストールします。

### 高度なオプション

Trac のインストール場所を変えるなどの高度なインストールオプションを知りたいければ以下を実行してください:

```
easy_install --help
```

詳細な情報は [Python モジュールをインストールする](#) を参照してください。

特にあなたは以下に興味を持つかもしれません:

```
easy_install --prefix=/path/to/installdir
```

Mac OS X に Trac をインストールする場合:

```
easy_install --prefix=/usr/local --install-dir=/Library/Python/2.5/site-packages
```

上記の例は、tracd と trac-admin コマンドを /usr/local/bin に、Trac のライブラリと依存ファイルを /Library/Python/2.5/site-packages にインストールします。これらのパスは Apple での Python サードパーティアプリケーションの標準ロケーションです。(訳注: つまり、上記と違うパスにインストールしたい場合のみ、オプションの指定が必要になります)

### プロジェクト Environment の作成

[Trac Environment](#) は Trac が Wiki

ページ、チケット、レポート、設定などの情報を保存するバックエンドストレージです。基本的に人間が読み込み可能な構成ファイルと他の様々なファイルやディレクトリ

新しい環境は [trac-admin](#) を使用して作成します:

```
$ trac-admin /path/to/myproject initenv
```

[trac-admin](#) はプロジェクト名、[ソースコードのリポジトリ](#) のタイプとパス、[データベース接続文字列](#) など、Environment を作成するのに必要な情報の入力促します。これらのオプションを指定せず、空白を入力するとデフォルト値が使用されます。SQLite がインストールされている場合、データベース接続文字列はいつでもデフォルト値で動作します。バージョン管理システムのリポジトリへのパスを指定しない場合、

また、ここで指定した値は [TracIni](#) 設定ファイルを直接編集することで後から変更できることに留意してください。

Note: Web サーバのユーザアカウントは Environment のディレクトリと、その中のすべてのファイルに対する書き込み権限が必要です。Linux では、Web サーバが apache というユーザ、apache というグループで起動している場合は以下のように入力してください。:

```
chown -R apache.apache /path/to/myproject
```

### スタンドアロンサーバの起動

Trac 環境を作成した後に、スタンドアロンサーバ [tracd](#) を実行することで簡単に Web インタフェースを試すことができます。

```
$ tracd --port 8000 /path/to/myproject
```

ブラウザを起動して、<http://localhost:8000/> にアクセスしてください。tracd が認識しているすべての Environment の簡単な一覧が表示されます。作成した Environment へのリンクにアクセスすることで Trac が動作中であることを確認できます。Trac でプロジェクトをひとつだけ管理したい場合、以下のように起動することで、スタンドアロンサーバは Environment 一覧の表示をスキップして、直接 Environment を表示します:

```
$ tracd -s --port 8000 /path/to/myproject
```

## Web サーバ上での Trac の起動

Trac に "真の" Web サーバから接続するには 3 つの方法があります: [CGI](#), [FastCGI](#), [mod\\_python](#) です。まともな性能を出すには FastCGI か mod\_python のどちらかを使用することが推奨されます。

また、開発コードを実行することを恐れていないのであれば mod\_wsgi を実行してみることもできます。mod\_wsgi は mod\_python 以上の性能を提供するはずですが、安定した動作をするかは分かりません。

## 認証の構成

認証のためのユーザアカウントを追加、削除、構成する方法は Trac を起動する方法により異なります。基本的な手順は [TracCgi](#) ページの [認証を追加する](#) セクションで説明されていますが、各フロントエンドのための認証をセットアップする方法は、以下のいずれかを参照してください:

- [TracStandalone](#) スタンドアロンサーバ `tracd` を使用する場合
- [TracCgi](#) CGI か FastCGI を使用する場合
- [TracModPython](#) `mod_python` を使用する場合

## Trac 0.11 と SVN を Mac OS X Leopard (10.5) で使用する

- [TracOnLeopardServer](#)

## Tracを使用する

一度 Trac サイトを稼働させれば、Subversion のリポジトリをブラウズする、チケットを作成する、タイムラインを見るなどが可能になるはずです。

anonymous (ログインしていない)

でアクセスするユーザは、デフォルトでほとんどの機能を使用することができますが、すべての機能を使用できるわけではないことに留意してください。すべての機能 [アクセス許可](#) を与える必要があるでしょう。

Enjoy!

[The Trac Team](#)

---

See also: [TracGuide](#), [TracCgi](#), [TracFastCgi](#), [TracModPython](#), [TracModWSGI](#), [TracUpgrade](#), [TracPermissions](#)